

1

D G D A
 さあ 賛美しよう
 D G D A
 救い主イエスを
 D G D A
 さあ 賛美しよう
 D G D A
 救い主イエスを

D G D
 ホザナ たたえよう
 G D A
 賛美しよう 救いの岩
 D G D
 ホザナ たたえよう
 G D A D
 賛美しよう 救いの岩に

D A/C# Bm D/A
 思わずらいを
 G D/F# Em A
 あなたの御手に ゆだねる
 D A/C# Bm G
 わからなくなったときには
 D/A A D
 ただ主のもとにゆく

D G A F#m B7
 小羊イエスよ 愛するきみよ
 Em A7 D
 御前に賛美をささげます

G A F#m B7
 十字架の愛で 罪ゆるされた
 Em A7 D
 私のすべてをささげます

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

イエス様の十字架の犠牲と愛を深く心にとどめて、「すべてを成し遂げてくださった」ことを感謝します。

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

イエス様のもとにゆく時、すべての罪と罪責感から解き放たれ、大胆に恵みの座に近づくことができます。

3. 個人的な願いの祈り

求めなさい、そうすれば与えられます！というお約束を信じて祈ります。

4. とりなしの祈り

- (1) 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
- (2) 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- (3) 瀬戸カルバリーチャペルの働きのため
 - ・礼拝・祈り会を早く教会でもてるように
 - ・100名礼拝と10名の受洗者のため
 - ・瀬戸ライフ・アート・スタジオのため
 - ・牧師家族のため・次世代の働きのため
- (4) 新型コロナウイルスの収束と復興のため
- (5) 日本のリバイバルと大和カルバリーチャペルのため

ゆきなれた路の
 なつかしくて耐えられぬように
 わたしの祈りのみちをつくりたい
 八木重吉

瀬戸カルバリーチャペル
 489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64
 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)
 Number: 003 瀬戸カルバリーチャペル

2

今日の聖書のことば

ゆづり読んで黙想しましょう。

「十字架の言(メッセージ)は、滅び行く者には愚かであるが、救いにあずかるわたしたちには、神の力である。」1コリント1:18

十字架上の7つのキリストのことば

1. 「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。ルカ 23:34
2. 「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。ルカ 23:43
3. 「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」。「ごらんなさい。これはあなたの母です」
ヨハネ 19:26-27
4. 「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」
「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」
マタイ 27:46
5. 「わたしは、かわく」ヨハネ 19:28
6. 「すべてが終った」ヨハネ 19:30
7. 「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」
ルカ 23:46



3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

- Q. 十字架上でイエス様は何を想っておられたでしょうか？想像して書いてみましょう。
- Q. どの十字架のことばがあなたの力になりますか。それはどうしてですか？
- Q. あなたの「十字架」体験を書いてみましょう。

4

みことばの解説

十字架の7つの言葉のメッセージを過去にお届けしました(2019年10月17日(木)から8回シリーズをYouTubeで視聴できます)。受難週を迎え、主のお苦しみと従順が誰のためであったのか、改めて心にとどめたいと思います。一つ一つのことばに、現代に生きる私たちへの深いメッセージが込められていることを、感じるができます。

大切なことは、イエス様は私たちの身代わり(贖い)として十字架で死んでくださったことです。私たちの罪とその結果(罪の呪いやすべての病)は、十字架に磔(はりつけ)られたのですから、私たちはこれ以上それを背負う必要がないということです。罪の罰の支払いは完了しました。ですから、はばかりことなく大胆に、神の恵みの座に近づき、「時期を得た助け」を受けとりましょう(ヘブル人への手紙4章14~16節)。

この「祈りの小径(こみち)」は、クリスチャン詩人で29歳という若さで、妻子を残して召された八木重吉の詩から名付けました。彼の有名な詩の中に、「ゆるし」というタイトルのものがあります。

神のごとく ゆるしたい
ひとが投ぐる にしくしみをあたため
花のようになったらば 神のまえにささげたい

彼は人が投げってくる憎しみや怒りを「投げ返す」でも「投げ捨てる」のでもなく、「あたためて花のようにする」と書いています。イエス様が、人間の業、欲望、汚れた思い、優しさの欠如した言動を、しっかりと胸に受け止めてくださったことをイメージしたのでしょうか。「神のごとくゆるしたい」…このキリストにあって、私たちは赦されただけでなく、ゆるしがたい存在をゆるす者へと変えられます。

十字架はあなたの人生の分岐点となるでしょう。その足元で、主の御声を聴き、従うならば…。